A 試合会場レポート

2018-19 V.LEAGUE DIVISION1 MEN　レギュラーラウンド

試合番号 **121**　開催日 **2018/11/10**

会場： **墨田区総合体育館**

観客数:1800	開始時刻:13:00	終了時刻:14:51	試合時間:1:51	主審:桑原　健輔	副審:高橋　宏明

FC東京

監督　：ロディ　アレッサンドロ
コーチ　：坂本　将康

通算　：1 勝 3 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：3

大分三好ヴァイセアドラー

監督　：　小川　貴史
コーチ　：　小林　尚登

通算　：　0 勝 5 敗
ﾎﾟｲﾝﾄ　：　0

3	25	第1セット【0:26】	21	1
	21	第2セット【0:26】	25	
	25	第3セット【0:22】	15	
	25	第4セット【0:21】	17	
		第5セット【】		

ﾎﾟｲﾝﾄ 3　【 】内はセット時間　（）内は交代選手　ﾎﾟｲﾝﾄ 0

<監督コメント>

本日はご来場いただきありがとうございます。勝ててとても嬉しいです。
第１セット、第２セットはアタックでエラーがありハードワークでしたが、第２セットはとてもいいプレーが出てきました。
第３セット、第４セットは私たちは完璧なパフォーマンスができました。チャンスがあったので勝てて良かったです。

25	ﾃﾞﾛｯｺ	手原	第1セット	藤田(濱本)	ｴｽﾍﾟﾎ	21
	井上(玉宅)	栗山(小田嶋)		ﾔｶﾝ	小松	
	長友	手塚(野瀬)		勝	高山	

リベロ: 橘　リベロ: 辻口(智)、松尾

21	井上(玉宅)	ﾃﾞﾛｯｺ	第2セット	藤田	ｴｽﾍﾟﾎ	25
	長友	手原		ﾔｶﾝ	小松	
	手塚(野瀬)	栗山(小田嶋)		勝(辻口)	高山(藤岡)	

リベロ: 橘　リベロ: 辻口(智)、松尾

25	ﾃﾞﾛｯｺ	山田(要)	第3セット	藤田(石橋)	ｴｽﾍﾟﾎ	15
	井上(小田嶋)	栗山(玉宅)		ﾔｶﾝ(藤岡)	小松(濱本)	
	長友	手塚(佐藤)		勝	高山	

リベロ: 橘　リベロ: 辻口(智)、松尾

25	井上	ﾃﾞﾛｯｺ(近江)	第4セット	藤田	ｴｽﾍﾟﾎ	17
	長友(小森)	山田(要)		ﾔｶﾝ(濱本)	小松(藤岡)	
	手塚	栗山		勝	高山	

リベロ: 橘　リベロ: 辻口(智)、松尾

			第5セット			

リベロ:　リベロ:

<監督コメント>

サーブレシーブ、サーブともにミスが多く、相手を楽させる展開が終始続き、大変苦しいゲームでした。
セットを取った後のゲームの入り等、チームとしての修正をはかり、次ゲームに挑みたいと思います。本日もご声援ありがとうございました。

<要約レポート>

今シーズン初のホームゲームで１勝を挙げたいFC東京に対し、同じく早く白星を挙げたい大分三好ヴァイセアドラーの戦い。
第１セット、FC東京の司令塔手原は、手塚、デロッコ、長友らを使い大分三好に挑んだ。それに対し、大分三好の司令塔小松は、ヤカン、エスペホで応戦した。ゲームは一進一退の攻防を繰り返した。終盤に入り、FC東京・手原の巧みなトスワークで大分三好を翻弄し、最後は長友の豪快なアタックでこのセットを手に入れた。
第２セット、このセットも激しい打ち合いになり、得点の奪い合いになった。接戦は終盤にまで続いた。FC東京のデロッコを大分三好の勝がブロックで防いだ。ここで大分三好はリードを奪い、最後はエスペホがアタックを決め、このセットを手に入れた。
第３セット、FC東京は司令塔を山田に代えて臨んだ。その後FC東京・手塚のサービスエースなどもあり、リードを奪った。中盤から終盤、さらにリードを広げ最後は佐藤のアタックが決まり、このセットを手にした。
第４セット、後のない大分三好は、ヤカン、エスペホを小松の巧みなトスワークで使いFC東京を翻弄する。FC東京は手塚のブロック、長友の連続サービスエースが決まり追いすがる大分三好を突き放すとそのままリードを保ち、ホームゲームで初勝利を飾ることができた。

作成者 ： 柴田　等

※本票の著作権は一般社団法人ジャパンバレーボールリーグに帰属します。